



創価大学

Discover your potential  
自分力の発見



2018

創価大学教職大学院  
教職研究科教職専攻

Graduate School of Teacher Education



### 入学者選抜に関する方針

#### アドミッションポリシー

教職大学院は、創価大学のアドミッション・ポリシーに基づき、教職大学院の特質にしたがって以下のように選抜します。

1. 優れた教員となるための資質としての基礎学力を有し、かつ教育への強い関心と学習意欲を有していること。
2. 他人が幸せになることや成長発達することを心から喜べる人柄であること。
3. ものごとを柔軟に捉えることができ、かつ常に自己更新していこうとする学習姿勢を有すること。

上記 1. 2. 3. の基本的な資質、人柄であることに加えて、次のような資質を有する学生を期待します。

- 10年以上程度の教職経験を有し、真摯な職務遂行を土台として、自己の実践上の教育課題や解決すべき問題が明確になっている学生(人間教育実践リーダーコース)
- 教育学部あるいは教職課程において幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教員免許を取得し、教師としての情熱や基礎学力を身につけている学生(人間教育プロフェSSIONALコース)
- 人文科学、社会科学、自然科学等教員に求められる教養を身につけている学生
- どのような児童生徒に対しても公平で平等な指導ができる人権感覚・国際性豊かな学生
- ものごとを前向きに捉えることができ児童生徒に希望を与えることができる人間性を有する学生
- 学校など職場の同僚と協働できる協調性を有し、かつ保護者や地域の人々と対話し交流できる社会性豊かな学生

以上の教職大学院のアドミッション・ポリシーに基づき、筆記試験(人間教育プロフェSSIONAL教育コースのみ)や口述試験、志望理由書等の多面的な評価を総合して入学者を選抜します。

### 修了認定・学位授与に関する方針

#### ディプロマポリシー

教職大学院は、創価大学のディプロマ・ポリシーに基づき、所定の期間以上在学し、所定の単位を修得し、以下のような資質・能力を獲得した者について修了認定し、教職修士(専門職)の学位を授与します。

- 大学の学士課程における学習及び実際の教育経験、社会経験などを踏まえ、学校現場において主体的に自らの課題を設定し、課題解決に向けて探求し続ける、課題解決力
- 各学校、地域で教員たちが教育課題研究、授業研究などとおして専門的力量を高めあう活動を組織し推進するスクールリーダーとしての資質
- 学校現場で、授業記録、実践記録、観察記録など教育事実に基づく省察とその教育実践の再構成を推進していくことのできる力
- 国内及び国外の多様な制度、実践事例との比較の中で各自の教育実践、各学校の教育を振り返り、整理・再検討し、新たな視点から教育内容、方法を改善・展開していく視野の広い柔軟な思考力
- 実際の教育実践の中から、教育の尊さ、教育者としての喜び、誇りを感じることで培われる高い倫理観と深い使命感

# 教育課程の編成・実施に関する方針

## カリキュラムポリシー

教職大学院は、創価大学のカリキュラム・ポリシーに基づき、教職大学院のディプロマ・ポリシーに適う学生を育成するために、2つのコースを設置し、養成する教員像にあわせて特色あるカリキュラムを編成します。

### 人間教育実践リーダーコース

人間教育実践リーダーコースでは、学校における授業等の教育実践、また学校経営に指導的役割を果たせるよう、人間教育の理念に根ざした豊かな実践的指導力と高度な専門性を背景とした応用力・展開力に富むスクールリーダーを育成するため、特色あるカリキュラムを編成、実施しています。

### 人間教育プロフェッショナルコース

人間教育プロフェッショナルコースでは、人間教育の理念に根ざした豊かな実践的指導力と高度な専門性に裏付けされた確かな授業力を有し、各学校の有力な一員となりうる教員を養成するため、特色あるカリキュラムを編成、実施しています（\*3年制は修業年限3年間で、教職大学院の教育課程と小学校もしくは中学校教諭一種免許状取得に必要な学部教育課程を並行して履修します）。

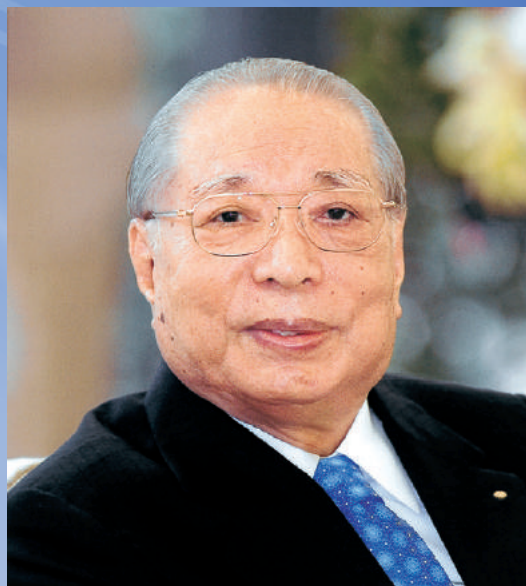
## ■教育課程編成の特色

- 共通科目については、両コースともすべて選択必修科目にしています。また、教職大学院の教育課程に位置づけることを義務づけられている5つの領域の科目をコアとなる科目として位置づけた上で、それぞれに3科目以上を配置しています。共通科目は、本教職大学院の教員の専門性がフルに発揮される理論的な性質の強い科目群であり、分野別科目で実践な学びを築いていくための基礎ともなる科目群です。（\*両コースとも5つの領域から各1科目以上を履修し合計20単位以上の修得が必要です。）
- 分野別科目については、それぞれのコースの独自性を考慮してコースごとの必修科目を設けています。これにより、教育の核となる部分については両コース必修の科目を、各コースの核となる部分についてはそれぞれのコースで必要となる科目を履修し、二つの目的・機能を果たすことができると考えられます。（\*両コースとも各コースの必修科目を含め15単位以上の修得が必要です。）
- 実習研究については、人間教育プロフェッショナルコースについては、基本的に東京都公立学校で行います。「実習研究Ⅰ」では40日間、「実習研究Ⅱ」では20日間程度にわたり、教科指導や生徒指導、学級経営等を経験し、自らが学校の諸課題に主体的に取り組むことができる資質・能力を育成します。人間教育実践リーダーコースの「実習研究Ⅲ」については、勤務校等での実践的実習や先進校の研究会への参画、人間教育プロフェッショナルコースの実習研究にメンターとして関わる実習などオンデマンドな実習研究ができるようになっています。
- 国内及び国外の多様な制度、実践事例に触れたり、教育委員会と連携したりする科目により、各自の教育実践、各学校の教育を省察し、理論と実践の往還を実現することで、新たな視点から教育内容、方法を改善・展開していく視野の広い柔軟な思考力を育成します。
- 共通科目、分野別科目の中には、人間教育実践リーダーコースの現職教員学生と人間教育プロフェッショナルコースの学部卒学生が交流を図る科目があり、触発し合う中で教員としての資質・能力の向上を目指します。
- 評価のあり方  
学生が身につけるべき能力について、授業ごとのディスカッションやプレゼンテーション、ジャーナルの評価と、学期末の試験やレポート、ポートフォリオ等による評価の両方を組み合わせ、適切に評価します。チーム・ティーチングによる授業では、研究者、実務家それぞれの見地から野評価をし、協議により最終的な評価を行います。

# 人間教育への新しき潮流

## 創立者 池田 大作 先生

1928年(昭和3年)1月2日生まれ。創価学会インタナショナル(SGI)会長。創価大学、創価女子短期大学、アメリカ創価大学、創価学園、民主音楽協会、東京富士美術館、東洋哲学研究所などを創立。世界の知性との対話を重ね、平和・文化・教育運動を推進。ハーバード大学、ポロニヤ大学、フランス学士院などで講演。国連平和賞、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 人道賞、ブラジル南十字国家勲章、桂冠詩人の称号など受賞多数。モスクワ大学、グラスゴー大学、北京大学、香港大学、デンバー大学、済州大学などの大学・学術機関から350を超える名誉称号を受ける。著書に『人間革命』(全12巻)、『新・人間革命』(現28巻)など。対談集に、トインビー博士との『二十一世紀への対話』、ポーリング博士との『「生命の世紀」への探求』、趙文富博士(韓国済州大学前総長)との『希望の世紀へ 宝の架け橋』、ゴルバチョフ元ソ連大統領との『二十世紀の精神の教訓』など、多数。



教育は、二十一世紀の焦点です。教育の前進こそ、社会の前進です。人類の希望です。(中略) デューイ博士も、牧口会長も、「子どものために」という視点から出発した先駆的な教育者でした。私たちは常に、この「何のため」という原点に立ち返る必要があります。

創立者とラリー・ヒックマン氏(ジョン・デューイ協会元会長)、ジム・ガリソン氏(ジョン・デューイ協会元会長)との対談集「人間教育への新しき潮流」より



## 建学の精神

The Founding Principles

### 人間教育の最高学府たれ

Be the highest seat of learning  
for humanistic education

### 新しき大文化建設の揺籃<sup>ようらん</sup>たれ

Be the cradle of a new culture

### 人類の平和を守る

### フォートレス<sup>ようさい</sup>(要塞)たれ

Be a fortress for the peace of humankind

## 創価大学教職大学院 指針

一、子どもの幸福を目指す  
慈愛の教育者たれ!

一、生命の尊厳を護り抜く  
正義の教育者たれ!

一、平和の世界を創造しゆく  
英知の教育者たれ!

## 学長あいさつ

豊かな人間性・社会性を  
備えた「子どもの幸福」につくす教員

学長 馬場 善久

1971(昭和46)年に、創立者池田大作先生が提唱された「人間教育の最高学府たれ」、「新しき大文化建設の揺籃たれ」そして「人類の平和を守るフォートレス(要塞)」との3つのモットーを建学の精神に掲げ開学した創価大学は、創立50周年へ向けて力強く進んでいます。昨年、本学の取組みが「大学教育再生加速プログラム」と「スーパーグローバル大学創成支援」にそれぞれ採択をされました。そして、本年1月の箱根駅伝初出場と、まさに本学の人間教育の黄金時代が到来しつつあります。

これまでに、この学び舎から巣立っていった卒業生は、いまや各界・各分野において、中核となって活躍をしております。中でも、教育界においては、これまで7,100名以上の教員採用試験合格者を輩出してきたという輝かしい実績があり、「子どもの幸福」に尽くす教員が陸続と誕生して



おります。本学では、それまでの教員養成の実績を基盤にして、現代的な要請に応えることができる高度な専門職を育成するために、2008(平成20)年、教職大学院を開設しました。そして、現在まで、本学教職大学院から199名の人間教育の体現者を輩出しました。

教育格差、いじめ、学制、グローバル化やICTへの対応など、教育に関しては、今日多くの問題・課題があります。このような時代だからこそ、創立者がかつて提言された「社会のための教育から教育のための社会へ」との考察がその重要性を増していると思います。

本学教職大学院から、優れたスクールリーダーとして学校現場の諸課題を解決できる、そして、高度な専門性と豊かな人間性・社会性を備えた実践力のある教員を今後も輩出していきたいと心より願っています。

## 研究科長あいさつ

理論と実践の往還、  
それは「内省的な問いかけ」と  
「他者への働きかけ」の往還作業

研究科長 吉川成司

教職大学院制度が発足して10年を迎え、教職大学院は量的拡大の時期を迎えています。2016年度には18大学で設置され、合計45大学となりました。2017年度にも新たに開設が予定されています。ここで注目すべきは、教職大学院の拡充が教員養成・採用・研修制度の転換期と密接にリンクしていることです。

「学び続ける教員像」を標榜した「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」(中央教育審議会、2012年)の延長線上に、「学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築」を掲げた「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」(中央教育審議会、2015年)など、教員の養成・採用・研修の一体改革が次々と実施されつつあります。すなわち、多様化・複雑化している現代日本の教育課題の解決に向けて、教員の質的な成長・向上が求められているのです。この点、私たち創価大学教職大学院に引きつけて述べれば、人間教育のエートスを体現した教師が今こそ希求されているといえましょう。



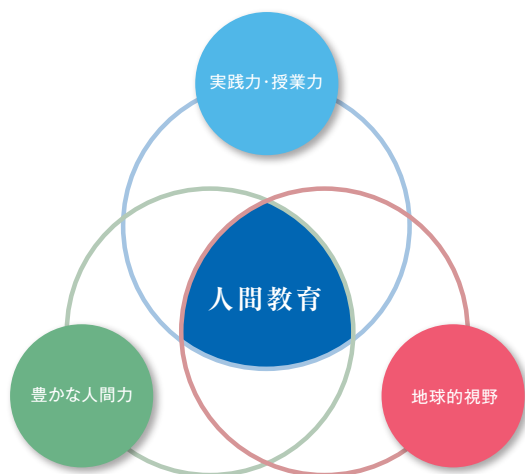
創価大学教職大学院は、創立者・池田大作先生が示してくださった3つの指針を胸に刻みつつ、「実践力・授業力」「地球的視野」そして「豊かな人間力」を育成することを目指しています。そのためには、「理論と実践の往還」が不可欠です。この両者の往還、すなわち現場での経験値を科学の知へと昇華しつつ、科学的知を実践の智慧に展開しゆくためには、「絶えず自己を省みながら、相手の善性を信じ働きかけ、自他ともに向上を目指す」(池田・ガリソン・ヒックマン『人間教育への新しき潮流』より)往還作業が要諦となります。すなわち「『内省的な問いかけ』と『他者への働きかけ』の往還作業」(同上)が根底にあってこそ「理論と実践の往還」が実現できるのです。このことは「学び続ける教員」のあり方にも通じる視座でありましょう。

このように、一步深い次元から理論と実践を止揚するところに、創価大学教職大学院の理念の眼目があります。人間教育の大道を歩みゆかんとする皆さんの入学を衷心よりお待ちしております。

# 概要

入学定員	25名(収容定員50名)
修業年限	人間教育実践リーダーコース 修業年限1年 人間教育プロフェSSIONALコース 修業年限2年 小学校一種免許状もしくは中学校一種免許状未取得者の修業年限は3年
修得単位数	人間教育実践リーダーコース 45単位以上 人間教育プロフェSSIONALコース 45単位以上
取得学位・取得免許状	教職修士(専門職) 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状(国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・保健・技術・家庭・職業・職業指導・宗教・英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・ロシア語) ※中学校教諭専修免許課は平成30年4月入学生より開設予定で文部科学省に申請します。文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。
教員数	25名 ・専任教員 11名(うち実務家教員5名) ・兼任教員 11名 ・兼任教員 2名
学 費	授業料650,000円 施設設備費100,000円 保健費8,000円 [計758,000円] 入学金246,000円 ※本学出身者は123,000円(通信教育部・創価女子短期大学出身者を含む) (なお、上記以外に「学生教育研究災害傷害保険料」の費用が加算されます)

## 創価大学教職大学院が養成する教員像



### ● 実践力・授業力

確かな指導理論と実践力・応用力を備えたスクールリーダー

### ● 豊かな人間力

すべての人をかけがえのない尊い価値を有する存在と見る人間観に立ち、互いの相違点に学び深める人間性豊かな教員

### ● 地球的視野

地球的視野に立ち、世界市民の育成に努める教員



## 教育課程の特色

### 多様な教育方法・ 学習方法を取り入れた 授業を展開

コース  
紹介  
▶P.7

- 研究者教員と実務家教員によるティーム・ティーチング方式による授業を多数行います。
- ロールプレイング、フィールドワーク等の多様な学習方法を取り入れ、学生の主体的な学習と課題解決能力を育みます。
- ほとんどの授業をビデオに記録し、分析し、省察できます。



### 研究者教員と実務家教員による 学校現場のニーズを 生かした授業を展開

カリキュラム  
紹介  
▶P.11

- 研究者教員と現場での経験豊かな実務家教員が指導に当たります。
- 教育現場の課題に応じるため、5領域の共通科目で多様な科目を配置しています。
- 「人間教育総合研究」では、具体的な実践的事例を取り上げ、分析的な研究を行い、「人間教育」を教育実践として展開します。



### 国内・国外の先進校での 実地研究

授業  
ピックアップ  
▶P.17

- 国内・国外の先進校を選択し、実際に訪問して実地研究を行います。
- 訪問先では現代的な教育課題や、学校教育の特徴を研究します。



### 学生第一の学習環境

学生第一  
の環境  
▶P.18

- 教職大学院棟を建設し、全学生に個人用の自習スペースを提供するなど学生第一の教育環境が整っています。
- 教材開発室を設置し、教材研究や開発を共有できる環境が整っています。
- 単身用学生寮が準備され、給付奨学金制度も充実しています。



# 人間教育実践リーダーコース

学校や地域で中核的・指導的な役割を果たす  
スクールリーダーを育成します



**対象**：以下の要件のいずれかに該当する者

学校教育法施行規則第20条の「教育に関する職」を10年以上経験した現職教員

協定を締結している都道府県・政令指定都市教育委員会及び学校法人等から大学院派遣研修として推薦ないし命令を受けた者、また受ける予定の者

人間教育実践リーダーコースでは、学校における授業等の教育実践、また学校経営に指導的役割を果たせるよう、人間教育の理念に根ざした豊かな実践的指導力と高度な専門性を背景とした応用力・展開力に富むスクールリーダーを育成します。

将来管理職となる者も含め、学校単位や地域単位の教員組織・集団の中で、中核的・指導的な役割を果たせる教員を養成します。

### 理論と実践の往還

10年以上の教職経験を持った現職教員が、これまでに培ってきた実務経験を理論的に裏付けるとともに今後の経験を体系化していくよう理論と実践との往還を図ります。

### 研究者と実務家との協働

研究者教員と実務家教員が協働して授業を行います。多くの授業科目をチーム・ティーチング方式で実施しています。

### 教育委員会等との連携

教育課程の編成や教育行政、学校経営等の運営に関わる授業科目については、教育委員会や学校現場で活躍している教員と連携しながら授業を行います。

### ディスカッション、プレゼンテーションの重視

すべての授業で多様なものの見方・考え方を培うため、ディスカッションやプレゼンテーション等、学習者の主体性を重視した授業を行います。

## 修了生の声

人間教育実践リーダーコース  
6期修了生

小畑 伸一さん  
(東京都 小学校教諭)



**Q** 教職大学院での学びが現在学校現場においてどのように活かされていると感じますか？

学校が抱えている課題に対して、経験だけではなく理論に基づいた提案ができるようになりました。例えば、学校心理学やチーム援助に基づいた校内における教員へのサポート体制を提案することで、学校経営に貢献できるようにしています。また同僚性の研究をしたことは、学級経営や職場の人間関係構築や教師の成長に大いに役に立っています。このように教育実践を省察できる視点をもてたことも、教職大学院で学んだ成果です。

**Q** 教職大学院での学生生活の中で最も印象に残っていることは何ですか？

ゼミ・協同学習の授業形態や自習室での生活です。大学院では教員から何かを教えてもらうだけではなく、教材をもとに大学院生が学んできたことや経験に基づいた考えを徹底的に話し合うことができ、それは今でも思い出されます。また人間教育実践リーダーコースの自習室では、授業が終わっても議論が続くことが多く、本当に充実した時間を過ごせました。そうした議論を通じて人間関係も深まり、卒業した今でも交流が続いており、励みになっています。



▶ 主な科目と修了要件

〈共通科目〉 以下の5つの領域から1科目以上を履修した上で、合計20単位以上を履修すること ※必修科目なし

領域	主な科目
教育課程の編成及び実施に関する領域	「個の学びの支援と学習デザイン」・「学習指導要領と教科カリキュラムのデザイン」
教科等の実践的な指導方法に関する領域	「教科等の指導開発研究AI・AII(国語、社会)」
生徒指導及び教育相談に関する領域	「特別活動と生徒指導」・「特別支援教育の現状と課題」
学級経営及び学校経営に関する領域	「教員研修実務研究」・「教育行政・学校経営の現状と課題」
学校教育と教員の在り方に関する領域	「子ども理解・保護者理解」・「人間的成長に関する理論と実践」

〈分野別科目〉 必修科目5科目10単位を含めて、15単位以上を履修すること

分野	必修科目	備考
教育実践総合研究	「学習指導の方法研究Ⅱ」	必修2単位
人間教育総合研究	「人間教育実践分析研究」 「人間教育実践分析課題研究」	必修4単位
教育開発総合研究	「教職課題研究Ⅰ」 「教職課題研究Ⅱ」	必修4単位

〈実習科目〉

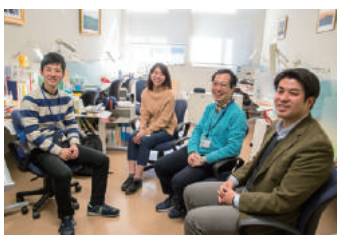
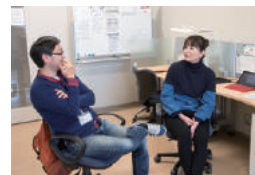
「実習研究」については、10年以上の教職経験とその実績を ①10項目にわたる「教育実践レポート」、②「実習に関わる所見書」、③「面接試験」により総合的に評価し、7単位の範囲内で実習の免除を認定します。 ※実習免除の詳細については、入試要項を参照してください。

〈修了要件〉

共通科目	分野別科目	実習科目	計
20単位以上	15単位以上	10単位(上限7単位の範囲内で免除制度あり)	45単位以上

▶ 入学から修了までのおおまかな流れ

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春学期				夏季休業		秋学期			冬季休業		春季休業
入学	研究課題の設定	研究課題の追究				研究課題の追究	国内外の先進校へ訪問研究 (※選択科目)		教職課題研究論文作成		修了



# 人間教育プロフェッショナルコース

実践的指導力と確かな授業力を備えた  
各学校の有力な一員となりうる教員を養成します



**対象**：以下の要件のいずれかに該当する者

### 2年制コース

- 人間教育実践リーダーコースの出願資格に該当しない現職教員
- 小学校もしくは中学校教諭一種免許状を有する者(取得見込みも含まれます)

### 3年制コース

- 小学校・中学校教諭一種免許状以外の教員免許状を有する者(取得見込みも含まれます)

人間教育プロフェッショナルコースでは、学校現場等のデマンド・サイドからのニーズを踏まえ、連携協力校での実習を重視するとともに、実習を大学院での理論的な学習と有機的に関連付けます。人間教育の理念に根ざした豊かな実践的指導力と高度な専門性に裏付けされた確かな授業力を有し、各学校の有力な一員となりうる教員を養成します。

### 教育現場の課題が学習課題

授業事例や児童生徒への指導事例を授業で取り上げ、グループごとに課題を設定し、解決方法を共同で追究します。さらに、プレゼンテーションを行い集団で討議して、相互に学び合い教え合う授業を行います。

### チーム・ティーチング方式での授業

多くの授業科目で多様な専門分野をもった複数の教員、研究者教員と実務家教員など、バリエーションに富んだ組み合わせのチーム・ティーチング方式により授業を行います。

### 学校現場との連携を重視した実習

実習は基本的に東京都公立学校で行います。実習研究Iでは40日間程度、実習研究IIでは20日間程度にわたり、教科指導や生徒指導、学級経営等を経験し、自らが学校の諸課題に主体的に取り組むことができる資質や能力を培います。

### 「人間教育実践リーダーコース」との有機的な連携

カリキュラム全般を通して、「人間教育実践リーダーコース」の現職教員学生と交流を図るカリキュラム編成となっており、学生が互いに触れ合い合う中で教員としての資質と能力の向上を目指します。

## 修了生の声

人間教育プロフェッショナルコース  
3期修了生

神野 佳子さん  
(千葉県 小学校教諭)



**Q** 大学院での学校生活の中で、  
最も印象に残っていることはなんですか？

何と言っても、一人ひとりの学生が立場も場所も関係なく、真剣にディスカッションを行っていた姿です。

ディスカッションは所属していた国語教育のゼミの場だけでなく、「人間教育実践分析研究」といった講義の中で、また、講義から戻った自習室でと、あらゆる機会を通じて行われていたように感じます。現職教員や教師を志す学生が立場に関係なく、真剣に討論を行うということは当然、学校現場では見られないものでした。このようなディスカッションを多くのメンバーと繰り返し行う中で、自身の教育観や教師としての在り方を見つめなおすことができたと感じています。このような姿勢は創価大学教職大学院の良き伝統の一つだと考えています。

**Q** 創価大学教職大学院の受験生へ  
一言お願いします。

教職大学院は、指導のノウハウや技術を習う所ではなく、教職人生において、生涯こだわりを持って追究していくものを掴む原点の学び舎だと思っています。真剣に学んだものは、必ず現場で生きていきます。目的感を持って是非教職大学院に来てください。

▶ 主な科目と修了要件

〈共通科目〉 以下の5つの領域から1科目以上を履修した上で、合計20単位以上を履修すること ※必修科目なし

領域	主な科目
教育課程の編成及び実施に関する領域	「個の学びの支援と学習デザイン」・「学習指導要領と教科カリキュラムのデザイン」
教科等の実践的な指導方法に関する領域	「教科等の指導開発研究BI・BII(算数・理科)」
生徒指導及び教育相談に関する領域	「特別活動と生徒指導」・「学校カウンセリングの現状と課題」
学級経営及び学校経営に関する領域	「教員研修実務研究」・「学級のデザインと子ども同士の関係づくり」
学校教育と教員の在り方に関する領域	「子ども理解・保護者理解」・「人間的成長に関する理論と実践」

〈分野別科目〉 必修科目6科目12単位を含めて、15単位以上を履修すること

領域	必修科目	履修年次		春学期・秋学期
		2年制	3年制	
教育実践総合研究	「学習指導の方法研究Ⅰ」	1年次	2年次	春学期 秋学期
	「学習指導の方法研究Ⅱ」	1年次	2年次	
教育開発総合研究	「教職課題研究Ⅰ」	2年次	3年次	春学期 秋学期
	「教職課題研究Ⅱ」	2年次	3年次	
人間教育総合研究	「人間教育事例分析研究」	2年次	3年次	春学期 秋学期
	「人間教育事例分析課題研究」	2年次	3年次	

〈実習科目〉 10単位

領域	必修科目	履修年次		春学期・秋学期
		2年制	3年制	
学校等における実習	「実習研究Ⅰ」(7単位)	1年次	2年次	春学期 秋学期
	「実習研究Ⅱ」(3単位)	1年次	2年次	

〈修了要件〉

共通科目	分野別科目	実習科目	計
20単位以上	15単位以上	10単位	45単位以上

▶ 入学から修了までのおおまかな流れ

〈プロフェッショナルコース 2年制〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	春学期			夏季休業			秋学期			冬季休業		春季休業
1年次	入学	実習校決定	実習校との打ち合わせ				実習研究Ⅰ 週4日実習 (10週で40日間程度)				実習研究Ⅱ 週4日実習 (5週で20日間程度)	
2年次	研究課題の設定	研究課題の追究	教員採用試験受験				教職課題研究論文作成				修了	

〈プロフェッショナルコース 3年制〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	春学期			夏季休業			秋学期			冬季休業		春季休業
1年次	入学	小学校・中学校一種免許状取得のための科目履修					小学校・中学校一種免許状取得のための科目履修					
2年次		実習校決定および打ち合わせ ・小中免許教育実習					実習研究Ⅰ 週4日実習 (10週で40日間程度)				実習研究Ⅱ 週4日実習 (5週で20日間程度)	
3年次	研究課題の設定	研究課題の追究	教員採用試験受験				教職課題研究論文作成				修了	

▶ 人間教育プロフェッショナルコースについてのQ&A

Q 人間教育プロフェッショナルコース2年制に入学をしたら小学校教諭及び中学校教諭の専修免許状は取得できますか？

A 小学校教諭一種免許状を取得済みで入学された方は小学校教諭専修免許状が、中学校教諭一種免許状を取得済みで入学された方は中学校教諭専修免許状が取得可能です。

小学校及び中学校教諭一種免許状の両方を取得済みで入学された方は両方の専修免許状が取得可能です。

Q 中学校教諭一種免許状を取得していますが、小学校教諭一種免許状も取得したいと思っています。可能でしょうか？

A 人間教育プロフェッショナルコース3年制で可能です。1年目は学部の教育課程で小学校免許に必要な科目を取得します。

2年目・3年目が大学院での学びとなります。

Q 人間教育プロフェッショナルコース3年制では、小学校教諭・中学校教諭のどちらの免許を取得するようになるのでしょうか？

A 小学校教諭・中学校教諭免許状のどちらか希望する免許を取得することとなります。

両方の免許を取得することは履修科目の関係上、できません。

※出願要件等についてご不明な点がございましたら教職大学院事務室までお問い合わせください。

# カリキュラム紹介

## ■ コース別の修了要件(必要修得単位数)

	共通科目	分野別科目	実習科目	合計
<b>L</b> 人間教育実践リーダーコース	20	15	10(3)	45(38)
<b>P-2</b> 人間教育プロフェSSIONALコース(2年制)	20	15	10	45
<b>P-3</b> 人間教育プロフェSSIONALコース(3年制)	20	15	10	45

※ プロフェSSIONALコース3年制については、小学校もしくは中学校一種免許状取得のための単位は別に修得しなければなりません。

数字は必修科目

## ■ 分野別科目の内容

領域	授業科目名	授業内容	L		P-2		P-3	
			履修年次	単位	履修年次	単位	履修年次	単位
教育実践総合研究	教育実践研究方法Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「教育実践と研究」に関するディスカッションを行う</li> <li>調査研究法・実験研究法・質的研究法について学ぶ</li> <li>授業研究のすすめ方について学ぶ</li> </ul>	1	2	1	2	2	2
	教育実践研究方法Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>質的研究デザインの方法を学ぶ</li> <li>質的インタビュー調査の質問項目を考案し、実際にインタビューをおこなう</li> <li>量的研究(主に質問紙調査・実験)の研究デザイン、および統計学の基礎理論・解析方法について学ぶ</li> <li>SPSS(統計解析ソフト)を活用して、データ分析の技法をパソコン実習を通して習得する</li> </ul>	1	2	2	2	3	2
	学習指導の方法研究Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師として身に付けるべき能力について討議を行う</li> <li>教材研究や指導案作成を行う</li> <li>自身の研究課題を明確にする</li> </ul>	—	—	1	②	②	②
	学習指導の方法研究Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>連続実習を振り返っての事例研究</li> <li>実習中に行う予定の教材研究や指導案の検討</li> <li>実習中の事例研究や授業研究</li> </ul>	1	②	1	②	2	②
	学習活動の組織化とその評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習形態と学習活動の関係やICTを活用した授業の特長を考える</li> <li>実現したい夢の授業づくりの検討、プレゼンテーション</li> <li>協同学習について学ぶ</li> </ul>	1	2	1	2	2	2
	授業力育成のための理論と方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科・領域の授業ビデオを視聴して討議を行う</li> <li>「授業力」についてのプレゼンテーションを実施</li> </ul>	1	2	1	2	2	2
	学校・家庭・地域の連携とキャリア教育の推進Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域、家庭、学校の連携の全体像・課題を理解する</li> <li>キャリア教育の概要・課題を理解する</li> <li>実地踏査の実施やゲストスピーカーの講話を授業時間で実施</li> </ul>	1	2	2	2	3	2
	学校・家庭・地域の連携とキャリア教育の推進Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭、地域の連携とキャリア教育のあり方について実践上の立場から考察</li> <li>学校現場で実践可能なキャリア教育のカリキュラムやプログラムを作成し、その内容を討議</li> <li>PBLやSL、協同学習などの指導法についても本授業の参加者間での実践を通して身につけていく</li> </ul>	1	2	2	2	3	2
	ICTを活用した教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板をはじめとするデジタル機器を利用した授業を展開できる</li> <li>電子教科書をはじめとするデジタル教材の有効な活用方法を考えることができる</li> <li>PCを使って自作の画像教材を作成することができる</li> </ul>	1	2	1	2	2	2
人間教育総合研究	人間教育実践分析研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間教育のとらえ方を各自の経験をもとに省察する</li> <li>人間教育実践をめぐる現代的課題を学び、教育実践記録に基づいて探究</li> <li>人間教育を目指す教育実践を構想する</li> </ul>	1	②	—	—	—	—
	人間教育実践分析課題研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間教育への実践分析の課題を理解する</li> <li>人間教育の視点に立つ学校教育の構想を考える</li> <li>「人間教育とは何か」についてディスカッションを行う</li> </ul>	1	②	—	—	—	—
	人間教育事例分析研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間教育のとらえ方を各自の経験をもとに省察する</li> <li>授業実践事例から人間教育を探究する</li> <li>人間教育を目指す教育理論・実践を理解する</li> </ul>	—	—	2	②	3	②
	人間教育事例分析課題研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>「教育実習」で行ったプレゼンを実施し、人間教育の視点から実践事例の分析研究と「課題」追求を展開する</li> <li>「教育実習」で行った学校教育実践の事例のプレゼンを実施し、実践事例の分析研究と「課題」追求を展開する</li> <li>各自の研究テーマと人間教育についてプレゼンテーションや討議を行う</li> </ul>	—	—	2	②	3	②
教育開発総合研究	教職課題研究Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自のテーマに基づいて研究の方法を検討し、論文のアウトラインをプレゼンテーションする</li> <li>教育学研究の在り方について学ぶ</li> </ul>	1	②	2	②	3	②
	教職課題研究Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>論文の完成・提出までの計画を策定する</li> <li>研究活動・論文作成過程の中間報告と協議を行う</li> </ul>	1	②	2	②	3	②
教育課題実地総合研究	教育課題実地研究(国内)	国内の先進校との交流をおとして現代的な教育課題を探究	1	2	2	2	3	2
	教育課題実地研究(国外)	海外の学校教育と教員をめぐる諸課題を国際的な視野から研究	1	2	2	2	3	2
必要修得単位数			15		15		15	

数字は必修科目

## ■ 実習科目の内容

領域	授業科目名	授業内容	L		P-2		P-3	
			履修年次	単位	履修年次	単位	履修年次	単位
学校等における実習	実習研究Ⅰ	東京都公立小学校での実習研究(週4日実習で計40日程度の実習)	—	—	1	7	2	7
	実習研究Ⅱ	東京都公立小学校での実習研究(週4日実習で計20日程度の実習)	—	—	1	3	2	3
	実習研究Ⅲ	人間教育実践リーダーコースの実習研究	1	3*	—	—	—	—
必要修得単位数			3*		10		10	

※「実習研究Ⅲ」は、人間教育実践リーダーコースの志望者について、その教職経験と実績を入学時に審査し、7単位分の実習免除が認められた場合に履修する科目です。

■ 共通科目の内容

領域	授業科目名	授業内容	L		P-2		P-3	
			履修年次	単位	履修年次	単位	履修年次	単位
教育課程の編成及び実施に関する領域	学習指導要領と教科カリキュラムのデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の意義と基本的性格を的確に理解する</li> <li>学校におけるカリキュラム経営の意味と基本原則を学ぶ</li> <li>カリキュラム実施の実情と課題を理解する</li> </ul>	1	2	2	2	3	2
	カリキュラムマネジメントと校内研修の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育政策の動向とカリキュラムマネジメントの必要性について理解する</li> <li>カリキュラムマネジメントの理論と実際について学ぶ</li> <li>ワークショップ型校内研修を設計してみる</li> </ul>	1	2	2	2	3	2
	個の学びの支援と学習デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>「個に応じた指導」について、先進的な実践事例と各人の指導案の比較を行い考える</li> <li>子どもの全体像を描いてみる</li> <li>「個」のとらえ方を討議したり、演習を行い学びを深める</li> </ul>	1	2	1	2	2	2
教科等の実践的な指導方法に関する領域	教科等の指導開発研究AⅠ(国語・社会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業案・指導計画の作成</li> <li>模擬授業の実施や授業構想の提案</li> <li>教科(国・社)指導の実際から教材研究及び教材開発の在り方を検討</li> </ul>	1	2	1	2	2	2
	教科等の指導開発研究AⅡ(国語・社会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業案・指導計画の作成</li> <li>模擬授業の実施や授業構想の提案</li> <li>教科(国・社)指導の実際から教材研究及び教材開発の在り方を検討</li> </ul>	1	2	2	2	3	2
	教科等の指導開発研究BⅠ(算数・理科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業案・指導計画の作成</li> <li>模擬授業の実施や授業構想の提案</li> <li>教科(算・理)指導の実際から教材研究及び教材開発の在り方を検討</li> </ul>	1	2	1	2	2	2
	教科等の指導開発研究BⅡ(算数・理科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業案・指導計画の作成</li> <li>模擬授業の実施や授業構想の提案</li> <li>教科(算・理)指導の実際から教材研究及び教材開発の在り方を検討</li> </ul>	1	2	2	2	3	2
	教科等の指導開発研究C(体育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動学習の可能性と体育教育の在り方を検討</li> <li>指導計画と指導案の作成</li> <li>運動する喜びを学習者と共有する方策を探求</li> </ul>	1	2	2	2	3	2
	教科等の指導開発研究D(生活科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが創る生活科、幼少連携の教育、総合的学習の学びへの発展の視点から、生活科がはたす低学年の子どもの教育の可能性について探究する</li> <li>持続可能な社会と平和のための教育の視点から実践事例を取り上げ考察する</li> <li>国際比較の視点から、日本の優れた生活科の実践にみる「子どもの学びの姿とその見取り」、ドイツの生活科やタイの環境学習の取り組みの違いから視座を得る</li> </ul>	1	2	1	2	2	2
	教科等の指導開発研究E(外国語活動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な小中連携英語教育の在り方について学ぶ</li> <li>小学校英語における様々なコミュニケーション活動の事例を学ぶ</li> <li>模擬授業を実践する</li> </ul>	1	2	2	2	3	2
	教科等の指導開発研究F(道徳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳教育の意義の理解と実践上の問題の明確化、道徳実践力の育成に重点を置いた資料づくりの検討や指導案の作成</li> <li>道徳学習について討議や演習</li> </ul>	1	2	1	2	2	2
	総合学習と社会参加学習論	<ul style="list-style-type: none"> <li>クロスカリキュラムについて学ぶ</li> <li>生きる力の育成と総合的な学習</li> <li>クロスカリキュラムと社会参加学習に基づく総合的な学習の構想</li> </ul>	1	2	1	2	2	2
生徒指導及び教育相談に関する領域	学校カウンセリングの現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>「不登校」「引きこもり」についての概説や事例検討</li> <li>「保護者への対応」についての概説や事例検討</li> <li>特別講師による講話を授業時間で実施</li> </ul>	1	2	2	2	3	2
	特別支援教育の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の現状と課題を検討する</li> <li>特別支援教育に関する知識を整理し深化させる</li> <li>障害観を育み、特別支援教育の実践力を培う</li> </ul>	1	2	2	2	3	2
	生徒指導・いじめ予防の理論と実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導の意義と原理、進め方(全体と個別)について学ぶ</li> <li>いじめ問題の現状と課題について学ぶ</li> <li>いじめ予防を志向する学校づくりの視点について学ぶ</li> </ul>	1	2	2	2	3	2
学級経営及び学校経営に関する領域	教育行政・学校経営の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導の法制度を学ぶ</li> <li>教育行政・学校経営についての行政ごとの施策と実状を学ぶ</li> <li>小・中学校の学校経営の実情と課題を学ぶ</li> </ul>	1	2	2	2	3	2
	特別活動の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校組織を生かした生徒指導の在り方について検討と協議を行う</li> <li>生徒指導の観点から児童期・青年期の心理的な特性と対応について検討を行う</li> <li>特別講師による講話を授業時間で実施</li> </ul>	1	2	1	2	2	2
	学級経営と子ども同士の関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表的な学級経営理論の歴史の変遷について学ぶ</li> <li>日本における学級経営の今日的課題について調べ、プレゼンテーションおよびディスカッションを行う</li> <li>学級集団のアセスメント、および学級コンサルテーションについて演習を通して学ぶ</li> </ul>	1	2	1	2	2	2
	児童生徒理解・保護者理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒のアセスメント、および指導・援助サービスの具体的方法について演習を通して学ぶ</li> <li>保護者の理解、および教師と保護者の具体的連携の方法について演習を通して学ぶ</li> <li>学校心理学の基礎的理論、および「チーム援助」の具体的方法について演習を通して学ぶ</li> </ul>	1	2	2	2	3	2
学校教育と教員の在り方に関する領域	世界市民教育を推進する学校と教員の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際理解教育・グローバル教育・世界市民教育について理解を深める</li> <li>世界市民教育を推進する学校と教員の役割について討議をおこなう</li> <li>国際化社会の教育課題について学ぶ</li> </ul>	1	2	2	2	3	2
	人間的成長に関する理論と実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間的成長に関する発達心理学や精神分析などの知見を学ぶ</li> <li>教員としての自らの生き方・在り方を検討する</li> <li>現在の学校教育の課題を克服するための方途を探る</li> </ul>	1	2	1	2	2	2
	教員研修実務研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員研修の歴史的研究を学ぶ</li> <li>区市町村・学校における教員研修の事例研究</li> <li>東京都教職研修センター又は八王子市教育センターにおける実務研究</li> </ul>	1	2	2	2	3	2
	教員の服務等と教育法規	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方公務員法、教育公務員特例法等における服務規定の研究を行う</li> <li>生徒指導上の法的な問題(体罰、学校事故等)について判例を通して検討する</li> </ul>	1	2	1	2	2	2
必要修得単位数			20		20		20	

# 専任教員紹介

教授 / 研究科長

吉川 成司



専門分野 / 学校教育心理学、授業研究

主な担当科目 / 「学習指導の方法研究Ⅱ」「授業力育成のための理論と方法」「人間教育事例分析研究」「人間教育事例分析課題研究」「教職課題研究Ⅰ-Ⅱ」「教育課題実地研究(国内)」  
略歴 / 創価大学教育学部卒、明星大学大学院人文科学研究科心理学専攻博士課程単位取得後退学、文学修士、創価大学教育学部専任講師、同助教を経て現職。

教育心理学をバックグラウンドとして、学校教育に関心を持っています。特に授業研究が好きです。学びのアイデンティティ、学びのコミュニティといった視点を大切にしたいと考えています。教職大学院の教育と研究では、理論と実践の融合が重視されています。すでに学校教育の現場で活躍されている現職教員の方、これから学校教育の現場に立とうとしている方と力を合わせて、「ああでもない、こうでもない」「ああしよう、こうしよう」と賑やかに考えていきたいと思っています。

教授

桐山 信一



専門分野 / 環境物理、科学教育

所属学会 / 日本物理学会、日本物理教育学会、日本環境教育学会、エントロピー学会

主な担当科目 / 「教科等の指導開発研究 BI・BII」「教育課題実地研究(国内)」

略歴 / 奈良県立畷傍高等学校卒業、広島大学理学部物理学科卒業、広島大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程前期修了、博士(学校教育学)、奈良県立高等学校理科教諭(物理)、奈良県立教育研究所指導主事(理科)などを歴任。

現在、次の3つのテーマで研究を進めています。

- (1) エネルギー・防災教育の研究 エネルギー教材装置「水スターリング熱機関」の作動の研究、学校の理科室での巻巻再現実験を行っています。
- (2) 原発放射能の環境汚染と脱原発に向けた道筋の考察 福島原発事故によって放出された莫大な放射能による環境汚染について、公開データをもとに分析しています。
- (3) 科学的リテラシーを育成する科学教育の在り方について 日本の理科教育に最も欠けている科学的リテラシーの育成について、原子力の単元を実例に研究し、NPO法人「子どもを放射能から守る全国ネット」などと連携して小学校理科での教材化を進めています。

教授

田村 修一



専門分野 / 学校心理学、カウンセリング心理学、教育心理学

「教育実践研究方法Ⅰ-Ⅱ」「子ども理解・保護者理解」「学級のデザインと子ども同士の関係づくり」

略歴 / 筑波大学大学院博士課程(人間総合科学研究科)修了。博士(心理学)。東京都立中学校教諭(24年間)、郡山女子大学教授、北里大学准教授、本学教職大学院准教授を経て現職。

主要研究テーマは、「『チーム学校』促進研修プログラムの開発」です。現在、教育現場には様々な課題が山積しています。それらの解決のために、心理学の理論と技法は大いに貢献できると考えています。教育実践を共に語り合い、研究的な視点を持って最新の学問成果も貪欲に吸収しながら、問題解決の具体的な方法を一緒に考えていきましょう。

教授

石丸 憲一



専門分野 / 国語科教育学、道徳教育

主な担当科目 / 「学習指導の方法研究Ⅰ-Ⅱ」「学習活動の組織化とその評価」「教科等の指導開発研究 AI・AII」「教科等の指導開発研究 F」「教職課題研究Ⅰ-Ⅱ」

略歴 / 静岡大学教育学部卒業、静岡県立小学校教諭として勤務、兵庫教育大学大学院修了(教育学修士)、創価大学教育学部准教授、同教職大学院准教授を経て現職。

教師であるために必要な資質は、当然のことながら健全なる心身であることに加えて、「明るさ」と「前向きさ」であるというのが私の持論です。この二つのことを財産に小学校での教員生活を送ってきました。国語や道徳を切り口に、これから教師として頑張ろうという方、これまでの教師経験を整理しさらにステップアップしようとする方たちと教師道を確立していきたいと考えます。

教授

長崎 伸仁



専門分野 / 国語科教育

主な担当科目 / 「学習指導要領と教科カリキュラムのデザイン」「教科等の指導開発研究 AI・AII」「授業力育成のための理論と方法」「教職課題研究Ⅰ-Ⅱ」「学習指導の方法研究Ⅰ-Ⅱ」

略歴 / 兵庫教育大学大学院学校教育学研究科修了(教育学修士)、大阪府立小学校教諭、府教育委員会指導主事・社会教育主事、山口県立中学校PTA会長、山口大学教育学部助教、教授、同大附属小学校長等を歴任。

「理論と実践の融合」や「理論と実践の往還」とはいうものの、具体的にはどういう姿をいうのでしょうか。授業研究の場合は、教科や教材の特性をとらえて、まず、「何を教えるか」を定めること―理論的側面としての「学習指導研究」―。そして、「いかに教えるか→どう学ばれるか」を導き出すこと―実践的側面としての「授業力研究」―。その結果、学習者は「どう学んだか」を研究すること(「学習者研究」となるのでしょうか。これら諸要素を繋ぎ、三位一体と為すことを教職大学院で、共に学んでまいりましょう。

教授

長島 明純



専門分野 / 生徒指導・教育相談、特別支援教育

主な担当科目 / 「特別活動と生徒指導」「学校カウンセリングの現状と課題」「特別支援教育の現状と課題」「人間的成長に関する理論と実践」

略歴 / 創価大学教育学部卒、北海道立小学校で、特別支援教育を中心に教員として勤務。兵庫教育大学大学院修了(教育学修士)。平成15年より北翔大学・同大学院講師として、臨床心理学の講義及び臨床心理士の養成。平成19年創価大学通信教育学部准教授を経て現職。

小学校での23年間の教職経験やスクールカウンセラーとしての経験を生かし、子どもたちの諸課題を克服するためには、教育はどのようにあるべきなのか、心理治療的な側面も含めて、その方途を実践的に研究しています。本教職大学院では、何のための教育なのかといった、根本的な問いを大事にしなが、学生さんや教育現場の先生方と一緒に、教育現場のニーズに応じていける、新たな潮流を形成してゆきたいと考えています。

教授

宮崎 猛



専門分野 / 社会科教育、社会参加学習論、総合的な学習

主な担当科目 / 「学校・家庭・地域の連携とキャリア教育の推進Ⅰ-Ⅱ」「教科等の指導開発研究 AI・AII」「総合学習と社会参加学習論」「教育課題実地研究(国外)」

略歴 / 創価大学法学部卒、早稲田大学博士課程単位取得退学、教育学修士、国際政治学修士。高校教員(公民科「政治・経済」担当)、早稲田大学非常勤講師、創価大学教育学部准教授、インディアナ大学客員研究員等を経て現職。

学校現場(高校)の経験で行き着いた研究テーマが、社会との直接のかかわりの中で、学びの意義を理解したり、自分の生き方を模索したりする社会参加学習です。教職大学院では、目先の指導技術に走ることなく、時代や価値観の変化、多様な子供に対応できる応用可能な力量と創造的な力を身につけることを目標とします。教育論や授業論の本質に根ざしつつ、子どもも教師もワクワクするような授業をみなさんとともに創造し、紡ぎ出していきたいと考えています。

准教授

若井 幸子



専門分野 / 日本教育史(大正期新教育運動・教師論を中心として) 読書教育

主な担当科目 / 「教員研修実務研究」「学習指導の方法研究Ⅰ-Ⅱ」「教育課題実地研究(国内)」「教職課題研究Ⅰ-Ⅱ」

略歴 / 東京学芸大学大学院修士課程修了(教育学修士)。中野区立東中野小学校教諭、創価学園東京創価小学校教諭・校長、東京学園副学園長を経て現職。司書教諭。


創立者池田大作先生と共に創価学園・東京創価小学校の建設に取り組ませていただいたことが最高の誇りです。「子供達の幸せのために」最大の教育環境である教師、その言動、振る舞い、授業実践が子供達の成長に大きな影響を及ぼすことを実感してきました。教師の成長、実践の在り方について共に学んで参りましょう。

**准教授** **寺林 民子**

専門分野／授業研究、総合的学習・理科教育  
 主な担当科目／「学校カリキュラムと教育研究推進の組織化」  
 「個の学びの支援と学習デザイン」「教育実践研究方法Ⅰ・Ⅱ」  
 「教職課題研究Ⅰ・Ⅱ」

略歴／三重大学教育学部卒。教育学士。愛知県の小学校に長年勤務し、テレビからの発展学習、オープンスクールで生活科・総合的学習のカリキュラム開発の研究に携わる。三重大学、岐阜大学、創価大学で非常勤講師。創価大学通信教育部准教授を経て現職。

小学校の教職経験を通し、子どもの追究力の深さに目を開かされてきました。授業研究と授業分析、生活科・総合的学習のカリキュラム開発、グローバル教育と天文教育、現職教育における授業研究と研修の在り方について研究しています。生活科・総合学習についてのドイツやオーストラリアでの実践交流を通して、どこであれ「子どもが本気になった追究は、すでに国際性がある」と実感しました。教師としての自分史を深めつつ、子どものための授業を探究していきましょう。




**准教授** **鈴木 詞雄**

専門分野／算数・数学教育  
 主な担当科目／「教科等の指導開発研究BI・BII」「ICTを活用した教育活動」「学習指導の方法研究Ⅰ・Ⅱ」「教職課題研究Ⅰ・Ⅱ」

略歴／愛知教育大学大学院教育学研究科数学教育専攻修士課程修了（教育学修士）、愛知県公立小・中学校教諭を経て現職。愛知県教育委員会優秀教員表彰・文部科学大臣優秀教員表彰を受賞。

小学校教諭として13年、中学校教諭として11年勤務する中で、算数・数学教育において、義務教育9年間を見通した指導ができるようになりました。また、全国にいる授業名人と言われる人たちは、「子どもの言葉で授業を創る」ことができることも知りました。子どもの心を大切に、子どもの能力を信じる問題解決型の授業や教えて考えさせる授業を目指します。その研究を通して、授業に必要な技術を明確にし、より高い実践力を身に付けましょう。



**准教授** **三津村 正和**

専門分野／教育学、子どもの人権、演劇の教育的活用  
 主な担当科目／「子どもの人権を保障する学校文化の形成」「ICTを活用した教育活動」「教科等の指導開発研究E」「教育実践研究方法Ⅱ」

略歴／創価大学法学部卒業。インディアナ大学大学院修士課程修了、M.Ed.（教育工学）。アリゾナ州立大学大学院博士課程修了、Ph.D.（教育学）。創価大学教育学習支援センター特別センター員、同教職大学院専任講師等を経て現職。

実践力・授業力、地球的視野、豊かな人間力の3つを兼ね備えた教師の育成が本教職大学院の使命であり、それは学生と教員の協働を通して実現されるものです。私は、これらの中でも特に「人間力」の涵養をいかにして成しうるのかを、日米の教師教育における実践研究を通して探求してきました。それには、私たち自身が世界に目を向け、人の心を見つめ、愛することの大切さを学びながら、弛まざる自己変革に挑戦することが重要ではないかと考えています。世界中の子どもがより幸せに生きるために教師に何ができるのか、ともに考え成長していきましょう。



## 兼任教員

<b>教授</b> <b>小山 満</b> 担当科目 「教科等の指導開発研究 C」	<b>教授</b> <b>藤原 義博</b> 担当科目 「特別支援教育の現状と課題」	<b>教授</b> <b>坂本 辰朗</b> 担当科目 「教育課題実地研究(国外)」 「生涯学習・国際化・情報化社会における学校と教員の役割」	<b>教授</b> <b>高野 久美子</b> 担当科目 「学校カウンセリングの現状と課題」
<b>教授</b> <b>鈴木 将史</b> 担当科目 「教科等の指導開発研究 BI・BII」	<b>教授</b> <b>関田 一彦</b> 担当科目 「学級のデザインと子ども同士の関係づくり」	<b>教授</b> <b>久保田 秀明</b> 担当科目 「教科等の指導開発研究 C」	<b>准教授</b> <b>吉田 和義</b> 担当科目 「教科等の指導開発研究 AI・AII」
<b>准教授</b> <b>平井 康章</b> 担当科目 「学校・家庭・地域の連携とキャリア教育の推進Ⅰ・Ⅱ」	<b>准教授</b> <b>董 芳勝</b> 担当科目 「教育課題実地研究(国外)」	<b>准教授</b> <b>井上 伸良</b> 担当科目 「教育行政・学校経営の現状と課題」 「教員の服務等と教育法規」	

## 兼任教員

<b>非常勤講師</b> <b>小田 勝己</b> 担当科目 「人間教育実践分析研究」 「人間教育実践分析課題研究」 「学習活動の組織化とその評価」	<b>非常勤講師</b> <b>近藤 茂代</b> 担当科目 「教科等の指導開発研究E(外国語活動)」 「特別活動と生活指導」 「教育行政・学校経営の現状と課題」 「教員研修実務研究」 「学習指導の方法研究Ⅰ・Ⅱ」 「教職課題研究Ⅰ・Ⅱ」
--	--

# 学生インタビュー

多くの理論や手法を、  
早いうちに携える。  
理想の教育を追求していくために。

人間教育プロフェッショナルコース 2年制

ストレートマスター  
大元 弘之さん



## Message

若いうちに教職というものを深く見つめる時間も持つ喜び。ここでの学びが、出会いが、人生の大きな財産になると信じています。

学部卒業後にマレーシアの日本人学校で3年間、小学校教諭を勤めた経験から、大学院への進学を決意。真つすぐな子どもたちや学び続ける先輩先生の姿から教職の奥深さを感じ、日本で教鞭をとる前にもっと自分の力を高めておきたいと思ったのです。

他大の院も検討しましたが、奨学金制度が充実していることから本学へ。また、学部時代の同級生が本学に在学しており、とても学びやすい環境だと教えてくれたのも後押しになりました。

教職についての学びにどっぷりと浸かれる毎日は、それだけでも充実感に満ちています。加えて本学には、学生のことを第一に考えてとことん真摯に指導してくださる教授

陣がいる。さらには、経験豊富なリーダーコースの方々をはじめ、教職への高い志をもった人々と刺激し合うのも魅力。そして理論と実践の往還を繰り返していくうちに、早く現場に出たい!という気持ちも大きくなってきました。

ここで学んだ理論がすべてそのまま現場に通用するとは思っていません。ですが、分析や考察の方法を知り、改善を実行する能力を培ったことなどは、必ず大きな糧になると考えています。卒業後に始める日本での教職人生をより豊かなものとしていくために、今、自分はここにいる。理想的な学級経営や授業を追い求め、学び続ける教師として、これからも邁進していきます。

自分が大学院へ進学するなんて。  
想定外の1年は、  
かけがえのないものに。

人間教育実践リーダーコース

現職教員(小学校教諭)  
與那覇 早苗さん



## Message

仕事への誇りが育った1年でした。学ぶ面白さや楽しさを再認識した経験は、子どもたちにも還元できものだと思っています。

教員生活11年目の節目に、今までとは異なる視点で教育を考えたいと受けた「教育管理候補者試験」。合格後に東京都から「創価の教職大学院への派遣」という話をいただきました。突然のことで困惑すると同時に、母校でまた学べるんだ!というワクワク感が溢れるのを感じていました。

それまでまったく院への進学を考えていなかった私。大学での研究ということに、ハードルの高さや躊躇を感じる人も多いと思います。けれど、自分が目指している教育を一度立ち止まって深く見つめる時間を持つことは、とても有意義である。経験しての実感です。

リーダーコースでの1年間で最も魅力的だったのは、

アメリカでの研究。これは本学ならではのプログラムなのですが、特に管理職の先生方が教員の個性を活かすという姿勢を貫いていることに感銘を受けました。

本学ならではの点では、施設面も見逃せません。閉架書庫の書物まで借りられる充実した図書館。ひとり一人の机が与えられている学習室、パソコン室は教室と同フロア、教授陣の研究室もすぐそばと、学びやすい環境が整っているのです。

教鞭をとる日常から研究への変化には戸惑うこともありましたが、本学であったことでより充実した1年を過ごすことができたのではないかと考えています。



## Message

いついっくか、誰しも迷いますが、  
上手くタイミングを見つけてほしい。  
ここでの1年は、教師人生の  
後半戦に必ず役立つはずですよ。



一生の仕事として、やり遂げる。  
教育環境を向上させていく  
使命とともに。

## 人間教育実践リーダーコース

現職教員(小学校教諭)

宮西 真さん

小学校の教員として、がむしゃらに突っ走ってきた14年間。一生の仕事としてより充実感をもちながらやり抜いていくには、じっくり考える時間が必要だと進学を決意しました。そして、学校にできるだけ迷惑をかけないタイミングを狙って実現させたのです。

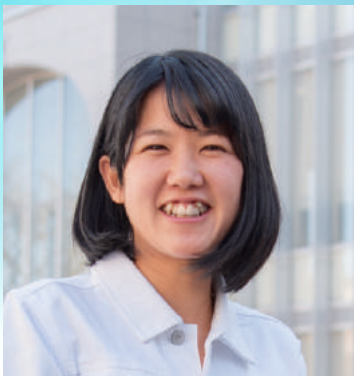
研究テーマを設定して、その調査や分析の方法、論文としての学術的なまとめ方を学んでいく……ようやく全体像が見えてきた頃には卒業。あっという間の1年でしたが、学ぶことに没頭できる喜びがありました。研究教員と実務家教員、理論と現場の両方が連携し、バランスよく教えていただけたのが良かった。しかも授業外まで熱心に指導していただき、本当に感謝しています。

学校でのミドルリーダーという立場では、ストレートマスターなどの若い人たちと共に学べる環境であったことも大きかった。彼らの意見から気づくことも多かったし、悩みなどをじっくり聞く機会をもてたことは、彼らを指導する立場として現場に戻ったときにも役立つと思うのです。

卒業を迎え、また多忙な現場が始まります。まず、ここで学んだ最新の指導方法や授業の方法などの教育理論をフィードバックする。そして、子どもたちの成長をより豊かなものとしていくために、先生たちがイキイキと働ける環境を作っていきたいと考えています。

## Message

自分の好きなことや得意なことが、  
教職に活かせる！そんな発見もた  
くさんありました。現場に立つ日  
の自信を養成する貴重な時間です。



ひとり一人と  
向き合うことができる教師へ。  
目標に向かって、自信と支えを育んでいる。

## 人間教育プロフェッショナルコース 3年制

ストレートマスター

櫻井 澪さん

じっくり学び、ゆとりをもって確実に教職免許を取得する。大学院への進学は、大学入学時から視野に入れていました。本学に決めたのは、入試説明会でのこと。「教育現場と一緒に改革していこう!」という教授陣や先輩方の熱意に感銘したからです。

教職大学院の魅力は、免許を取得しながら学びを深められることにあると思います。私の場合は、現場へ出るための自信を養う期間であるとも感じています。例えば、学部時代の教育実習20日から院では60日に。学校や生徒との距離も近くなり、授業以外にも教師というものがなければいけない様々な業務をリアルに感じる事ができました。また本学の場合は、実習

の間に定期的に授業もあり、修正を繰り返しながら前へと進んでいけるのも良かった。常に振り返る習慣がついたことで、教師として着実に進化できると思うからです。

私が目指しているのは、「ひとり一人の生徒と向き合うことができる小学校教師」。そして、好きなことややりたいことがたくさん見つけられるためのサポートをしていきたいと考えています。「絶対になれるよ!」と励ましてくれる同期や親身に指導してくださる教授陣。意識の高い人との深いつながりができたことも、現場に出たときの強い支えになると思っています。

# 授業ピックアップ

本教職大学院の「教育課題実地研究」では、国内外あわせて4つの地域から、先進校を選択し、現地での実地研究を実施します。学生からも「先進校の教育を実際に目にし、大きな収穫を得た授業でした」「今後の教職人生にとって重要なものとなりました」という声が多く寄せられています。

## 教育課題実地研究

●● 両コース選択科目

### 教育課題実地研究(国内)

富山 富山市立堀川小学校を訪問

奈良 奈良女子大学附属小学校を訪問

### 教育課題実地研究(国外)

アジア圏の2地域の学校や大学を訪問

※実地研究先は、情勢等により変更になる場合があります。

## 訪問地の教育史等を事前に **学**ぶ

訪問地の教育史や教育の現状を深く知ること  
で、訪問するまでの課題や授業研究のテーマが  
見えてきます。学生の表情も真剣。

## 個人やグループで研究テーマを **深**める

個人やグループでテーマを決めたら様々な資料  
に触れ、現地を訪問した際の準備を進めます。  
集中のあまり退館時間ぎりぎりまで勉強する  
こともしばしば。



## 先進校での教育に直接 **触**れる

現地で先進校の教育を直接学ぶとともに、国外  
では日本の教育実践を紹介するプレゼンを行っ  
たり、現地の学生に日本文化の紹介も。

## 実地研究交流報告会を行い、**フ**ィード 学びを互いに **バ**ック

現地で学んだこと、感じたことをお互いのプレ  
ゼンテーションから学び合います。プレゼン  
を行うことで自らの学びを整理し、さらに深める  
ことができます。また、他のグループのプレゼン  
から自分では気づかない視点を発見すること  
もできます。

# 学生第一の環境

教職大学院棟には学生一人ひとりが主体的に学習し、学生間の相互学習、共同学習を支援する学習環境が整っています。



## 教室

教職大学院棟の3、4階には、それぞれマルチ対応型の大小2教室が設置されています。教室内の机・椅子はすべて可動式で内容に沿った形態で授業が実施されます。2つの大教室には自動追尾カメラが設置され、ほとんどの授業をビデオに収録しています。



## 自習室

自習室には、全部で76席の専用ブースが用意されており、全員に机と椅子が割り当てられます。無線LANも完備されています。



## パソコンルーム

教職大学院専用10台のパソコンが設置されています。授業レポートの作成や、公開されている収録授業の視聴、データベース検索等に利用できます。



## ラウンジ・資料室

自習室に隣接するラウンジには、学生同士が懇談や休憩できるようスペースを確保しています。食事も取れるよう電子レンジも備え付けられています。また、教科書や教育専門雑誌が置かれており、いつでも閲覧することができます。



## 教材開発室

教材開発室では、ものづくり作業台、実験台のほか、多目的に使用するための可動式テーブルを設置しています。



## タゴール広場

教職大学院棟の前には、学生の憩いの場として、インドの詩聖タゴール像を設置したタゴール広場があります。

# 奨学金

創価大学教職大学院では、安心して学業に専念できるよう、独自の奨学金を豊富に設けております。給付奨学金では、牧口記念教育基金会奨学金をはじめ、教職大学院特別奨学金、教職大学院給付奨学金、創友会スカラシップ奨学金があります。貸与奨学金の日本学生支援機構奨学金と合わせて総合的に経済面でのサポートを行っております。

## 給付奨学金

名称	金額	期間	対象・人数	選考基準
創価大学 教職大学院 牧口記念 教育基金会 奨学金	1年次 1,000,000円(年額)	1年	人間教育実践リーダー コース 最大5名まで	教育委員会等の派遣研修制度による就学者以外 (休職制度を利用して進学する者)
	1年次 1,000,000円(年額) 2年次 750,000円(年額) 3年次 750,000円(年額)	最低修業年限まで 毎年	人間教育プロフェッショナル コース 最大10名まで	①10年未満の現職教員で教育委員会等の派遣研修制度による就学者以外 (休職して進学する者) ②教員採用試験に合格し、教職大学院に進学する者
	500,000円(年額)	最低修業年限まで 毎年	毎年3名まで	入学試験の成績優秀者
教職大学院 特別奨学金	200,000円(半期)	半期	毎学期2名まで	学期の成績優秀者
教職大学院 創友会 スカラシップ	300,000円(年額)	最低修業年限まで 毎年	毎年5名	人物、入試成績など

## 貸与奨学金

名称	金額	期間	対象	返還利子	
日本学生支援機構 奨学金	第一種 50,000円(月額)	最長2年	日本学生支援機構より受給者数が指定されます。 応募者多数の場合は、人物、健康、学力、経済面により選考となります。	無利息	
	88,000円(月額)				
	第二種 50,000円(月額)	最長2年 (ただし プロフェッショナルコース 3年制は最長3年)			上限3%
	80,000円(月額)				
	100,000円(月額)				
	130,000円(月額)				
	150,000円(月額)				

※これまでに大学院で日本学生支援機構(日本育英会)の奨学金を借りたことのある方は、申し込むことができない場合や借りられる期間(貸与終期)が制限される場合があります。

※希望により定額(10万円・20万円・30万円・40万円・50万円)を

増額して貸与できる入学時特別増額貸与奨学金(有利子貸与)があります(初回交付時1回のみ)。

# 学生寮

希望者には教職大学院生用の寮を以下の通り用意しています。なお、入居状況によって希望できない寮もありますので、ご承知おきください。

## 創価大学正義寮



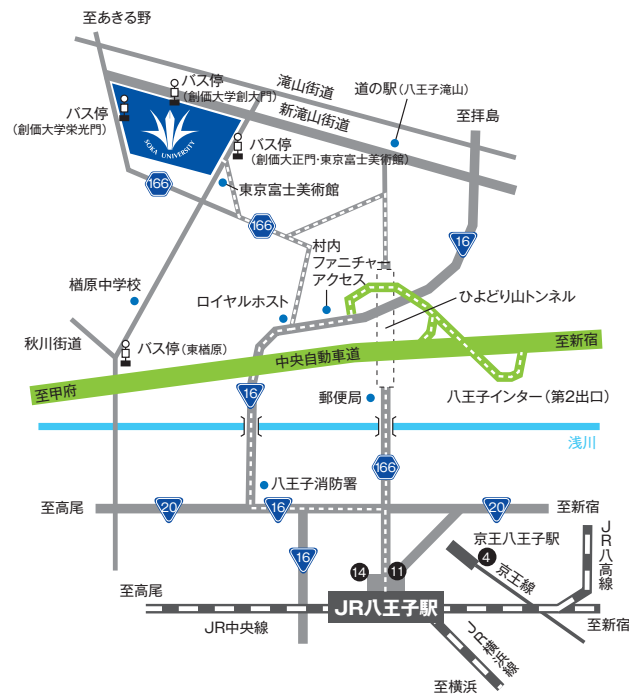
部屋数:9部屋 ワンルーム型(7.5畳/6.5畳 バストイレ別)  
 設備備品:エアコン・冷蔵庫・ベッド・学習机・ガスコンロ(1口)・液晶インターホン・有料駐車場

## 創価大学桂冠寮



部屋数:6部屋 個室型(約6畳 バストイレ共用)  
 設備備品:エアコン・冷蔵庫・有料洗濯機・ベッド・学習机・クローゼット・電気コンロ・カーテン





#### ▶ JR八王子駅より



「創価大学循環」行き、または  
「創価大学正門 東京富士美術館」行きのバスにて15~20分  
【平日、土曜日】

AM12:30まで 北口から階段を下り、ロータリーを左手に進み  
[⑭番] 乗り場より

AM12:30以降 北口から階段を下りずに駅ビルの外へ、遊歩道を進み  
右手奥の階段を下り、[⑪番] 乗り場より

【日曜日、休日】 終日 [⑪番] 乗り場より



北口から階段を下り、ロータリー正面のタクシー乗り場より  
約10分程度

#### ▶ 京王八王子駅より



中央口から右手後方バスターミナル [④番] 乗り場より  
「創価大学循環」行き、または  
「創価大学正門 東京富士美術館」行きのバスにて15~20分



中央口から正面のタクシー乗り場より約10分程度

創価大学 教職大学院 事務室

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236

Tel.042-691-9494 Fax.042-691-9332

E-mail.kyoshoku-d@soka.ac.jp

HP. <http://kyoshoku.soka.ac.jp/>